

別記第2号様式

平成15年度中間評価調査書

機関名 アイヌ民族文化研究センター

整理番号	3	研究課題名	十勝地方のアイヌ語の調査研究(基礎語彙)			
事業区分	重点領域・一般試験等 一般試験	研究区分	研究	試験	調査	分析
共同研究機関 (協力機関)						各種施策等との関連性 第3次北海道長期総合計画 大項目：だれもが安心して暮らせる住み良い社会を形成する。 中項目：アイヌの人たちの民族としての誇りが尊重され地位の向上が図られる社会の実現 目 標：アイヌ文化の保存振興とアイヌの人たちに対する理解の促進
研究期間及び 所要見込額(千円)	7年度～17年度	前年度以前	当年度	翌年度以降	全体所要額	
		3,432 (3,432)	212 (212)	375 (375)	4,019 (-財 4,019)	
研究の概要						
<p>研究背景 十勝地方のアイヌ語は、研究成果も研究資料も少ないため、その基礎資料から収集を行う必要がある。そのため、日常会話の中で比較的使用頻度が高い基本的な単語(基礎語彙)について調査・分析を行う。なお、十勝地方のアイヌ語話者は少数で、かなりの高齢であることから、この調査は緊急を要する。</p> <p>研究目的 十勝地方のアイヌ語の基本単語の収集とその分析による、基礎資料を作成する。</p> <p>研究内容 聞き取り調査による基礎語彙の収集 他地域の比較により基礎語彙の分析</p> <p>年次別目標 平成10～12年度：本別地域での単語の聞き取り調査 平成13～14年度：採録資料の整理と補足調査 平成15～16年度：採録資料分析及び帯広地域との比較研究 平成17年度：単語集の作成</p> <p>研究計画の適切性 当初予定より整理分析作業に時間を要するため、研究期間を延長する必要がある。</p>						
						直近の研究課題評価結果 平成13年度 中間評価 【自己評価】 A・B・C 【総合評価】 A・B・C
研究の進捗状況						
<p>研究計画に照らした進捗状況・目標達成度など ・平成12年度：基本的な約2,000語の単語の収集を終了し、そのうち親族名称について内容の分析を終了した。 ・平成13-14年度：補足調査や内容分析に遅れが生じている。</p> <p>年次別実績 平成10-12年度：本別地域での単語の聞き取り調査 ：調査報告として「アイヌ語十勝方言の親族名称について」を研究紀要に掲載 平成13-14年度：採録資料整理</p>						
						進捗度・目標達成度 a (b) c
今後の見通し						
<p>研究開始後の事情変更の有無 当初予定より分析作業に時間を要することから、平成17年度まで延期する。</p> <p>研究手法・資源配分の見直しの必要性 なし</p> <p>期待される成果とその実現可能性、成果の有益性、活用可能性 本研究により、研究資料が乏しい十勝地域におけるアイヌ語の基礎データが明らかになることから、その成果は伝承活動やアイヌ語学習等での活用が期待できる。また、他のアイヌ語の研究にも大きく寄与することが期待される。</p>						
						期間の妥当性 a (b) c
						経費の妥当性 (a) b・c
						実現の可能性 (a) b・c
						活用の可能性 (a) b・c
【自己評価】	【意見】					
(A)・B・C	十勝地域におけるアイヌ語の基礎データが明らかになり、アイヌ語学習等への活用が期待できることから、引き続き取り組む必要がある。					
【総合評価】	【意見】					
(A)・B・C	整理分析に時間を要してはいるが、研究資料の乏しい十勝地域のアイヌ語の基礎データが明らかになるのみならず、他地域との比較研究など、幅広い活用が可能となることから優先的に引き続き取り組むべきである。					

(A) 今後十分な研究成果が期待でき、優先的に取り組む必要がある  
(B) 今後一定の研究成果が期待でき、継続して取り組む必要がある  
(C) 今後の見通し等に問題があり、中止を含めた抜本的な見直しが必要である

(a) 極めて高い、適切である  
(b) 高い、概ね適切である  
(c) 低い、改善の余地がある